

令和5年度 施設としての自己評価

ミキネ おひさまの森保育園

平素はミキネおひさまの森保育園の運営にご理解ご協力いただきまして、ありがとうございます。
以下の通り、園の自己評価を付けました。今後一層より良い園になるよう職員一同努力してまいります。

【1】どちらかというとできていなかった 【2】どちらかというとできていた 【3】ほぼできていた 【4】よくできていた

年目標	自己評価	内容
●保育内容(今年度の重点)		
・愛着についての理解と愛着形成の実践	3	研修やミーティングを通して愛着についての学びの場を設け、自身の関わり方を見直し理解を深めた。また家庭と連携を取り、個々に合わせた”心地よい過ごし方”について共有し全職員で子どもの気持への寄り添い方を揃えていった。
愛着についての理解を深め、個々を尊重した関わりをする		
・子どもの意欲を伸ばす声掛けの検討と実践	3	子どもの興味や関心を捉え、取り組む姿を認め、思うようにいかなかった場合でもその過程をしっかりと認めて褒めることで「もう一度、チャレンジしてみよう」という、意欲に繋がるような声掛けを実践できた。
子どもの興味や関心を捉え主体性を大切にしながら意欲に繋がる声掛けを実践していく		
●施設設備		
・保育室環境について	3	玩具の選定や物の配置について昼礼やミーティングの際にクラス担任を中心に話し合いの場を設けた。ワンルームの中で子どもが主体的に遊べる環境設定を取り入れていくことができた。
発達や子どもの育ちにあった環境を整えていく		
・園周辺環境の活用について	3	今年度は連携園との交流や神社への初詣、八百屋への買い物など周辺環境を利用して育ちに繋がられる機会を多く持つことができた。
地域の特性や環境を理解し、保育に取り入れ活かしていく		
●保健・衛生		
・感染症対策について	4	感染状況や必要な情報を迅速に掲示するとともに口頭でお伝えした。子ども、同居ご家族の日々の検温記録を確認し健康状況の把握と早期対策を行った。手指消毒、玩具、保育施設の消毒、換気を徹底し感染拡大防止を実施できた。
感染症への学びを深め、感染予防や感染症拡大防止に努めていく		
●運営		
・行事のありかたについて	3	感染状況を確認し行事直前の中止や人数制限などを行い感染拡大防止を行いながら開催した。開催方法の変更等はあったが保護者から「成長を実感できた」とのお声をいただき、ねらいを概ね達成できた。
行事の意味やあり方を検討し、子どもの育ちを表現できる最善の環境を模索していく		
・保護者との連携体制について	3	家庭での様子を聞いたり、園での様子をお伝えしたりしながら保護者との関係性を育んできた。「ともに子どもを育てる」意識を持ち理解を深めることができた。
保護者が大事にしている子育てへの想いを理解し、家庭と連携をとり保育に活かしていく		
・危機管理について	2	毎日を過ごす環境の中に想定外の危険が潜んでいること意識を高める1年となった。月1回の避難訓練やミーティングなどで様々な状況を想定し改善点や連携の取り方を話し合ってきた。
防犯や災害時の対応への意識を高め、発生時には被害を最小限に留めることが出来るよう努めていく		

【総評】

平素より、園の運営にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
今年度前半は、感染症の予防・防止の観点から行事の中止や縮小を含め、保護者様にご理解・ご協力をいただくことが多くあった一年となりました。本当に感謝申し上げます。
今後も子どもたちの育ちを止めることなく、一人ひとりが伸び伸びと自分を発揮できるよう、職員間や家庭と想いを揃え保育の質の向上、保護者支援に一層尽力して参ります。
今後とも、よろしくお願いたします。

令和6年3月1日

園長 紅林 ゆかり

上記の園自己評価の結果を掲示とともに開示させていただきます。尚この掲示は3/1から来年度4/末日まで開示します。